

vol. 8
2025.3

みなみおおやだより

★★★ 父母と教職員の会 会報誌 ★★★

2025年3月21日
町田市立南大谷小学校
父母と教職員の会
会長 新井 克尚

- 地区より
- 広報より みなみおおや大図鑑から
- 立候補募集をおえて
- 会長より
- 副会長より
- SGCより
- 企画より



みなみくん



みなみくん



みなみくん



みな



気になることがありましたら、
いつでもご連絡ください。

【父母教メールアドレス】 minamifubokyou@gmail.com

地区より 交通ボランティアさん感謝の会を開催しました

3月3日に校長室にて、交通ボランティアさんへの感謝の会を開催しました。最高気温が前日より15℃も下がるとの予報、まとまった雨は約1か月ぶりという悪天候の中、4名のボランティアさんが学校まで足を運んでくださいました。

感謝

ありがとう!



2年生と3年生が心を込めて書いてくれたメッセージカードのアルバムをお渡しすると、

「あら、素敵! この子絵がとても上手いわ。」

「こんなに字も上手に書けるのね。」

「このメッセージカード、お友達のお孫さんからだわ。おばあちゃんにも見せてあげなきゃ。うれしいわ。」
など、皆さんに大変喜んでいただけました。メッセージカードの作成にご協力いただき、ありがとうございました。



ボランティアさんの中には、15年、20年と長きにわたり、旗振りの活動を続けてくださっている方もおられます。

あの場所はこんなことがよくある、こういうケースが危険だった等、毎日見守っているボランティアさんだからその内容もお話しくれました。

今後の見守り活動に活かしていきたいと思います。



今、交通ボランティアさんは高齢化が進んでいます。

ご体調がすぐれずに長期間お休みされたり、引退される方もいらっしゃいます。ボランティアさんが立ってくださる場所は学区内でも特に危険な場所のため、協力してくださる方が少なくなると子どもたちが危険にさらされることとなります。町内会などご近所の方やおじいちゃんおばあちゃんなど、子どもたちを見守ってくださる方がいらっしゃれば、ぜひご紹介いただけると幸いです。

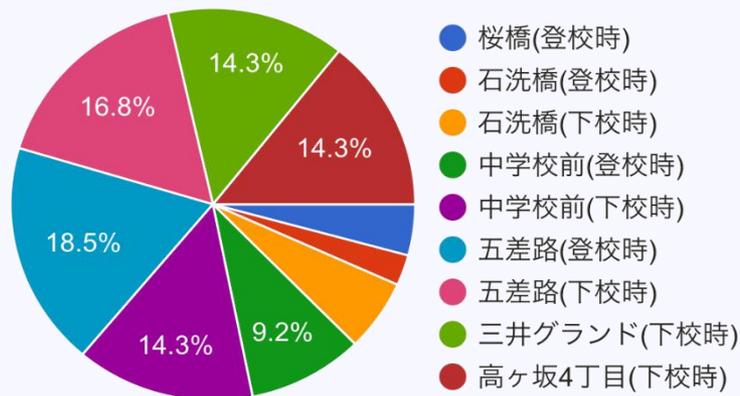


日頃より、父母教の活動にご協力くださりありがとうございます。
2月12日に配信させていただいたアンケートのご報告をいたします。

回答者数 119 名
家庭数 342 家庭
回答率 34.8 %

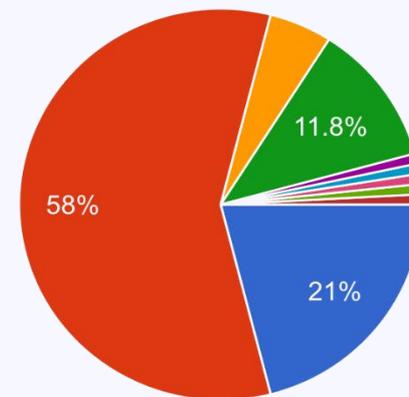
1 ご回答いただいた皆さまのポイント立ちされている場所の割合です。

概ねまんべんなくご回答いただけたようで、ありがとうございます。



3 今のポイント立ちの場所について、率直な感想を伺いました。

「危ないので絶対に必要」「あったほうがいい」というご回答が8割近くを占めました。



2 現在、登校のみ・下校のみのポイント立ち場所について、そのまま(時間帯を増やさず)で良いか、確認をさせていただきました。

高ヶ坂4丁目のみ、登校時も必要だという回答が数件ありましたが、ほかのポイントについては、「今まで通りで良い」が100%という結果でした。

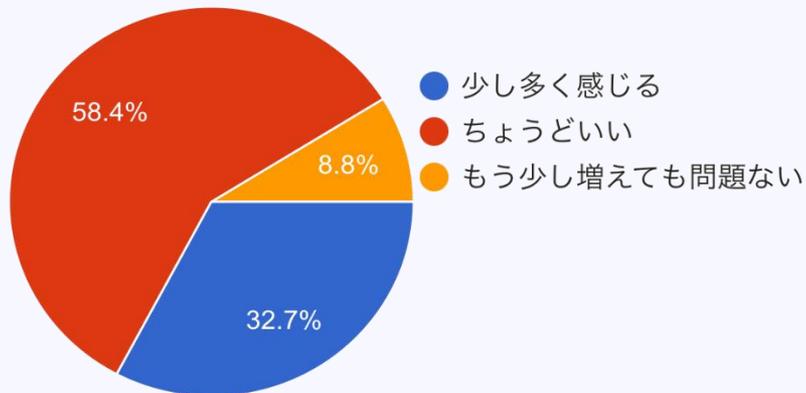
- 危ないので、絶対に必要
- あったほうがいい
- 必要ない
- 子どもたちにとって、危険かどうかわからない

<その他>

役に立っているか実感ができない、効果がわからない、何とも言えない。などのご意見もいただきました。

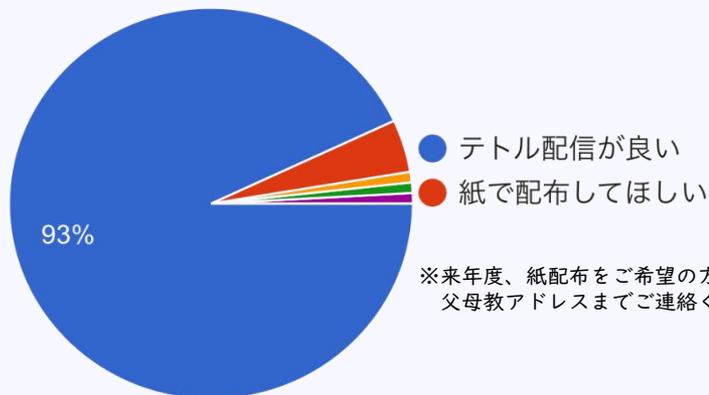
4 「ポイント立ちの回数について」

「ちょうどいい」が最も多く、
「少し多く感じる」方が3割程度でした。



5 「ポイント立ちの配信方法について」

9割を超える方ががテトル配信を希望されていました。



※来年度、紙配布をご希望の方は、
父母教アドレスまでご連絡ください。

6 「現在ポイント立ちの場所に指定されていない、危険な場所について伺いました。」

下記の場所について回答がありました。
ご回答いただいた場所については、役員会で協議・検討させていただきます。

- ・小学校の正門前の横断歩道
- ・ユニヴェルシオールの前
- ・高ヶ坂4丁目より西成瀬方面へ向かった信号や横断歩道がない場所
- ・三井グラウンドから坂を登りきった信号のない変形五差路周辺(2件)
- ・登校時の高ヶ坂4丁目の交差点
- ・小学校の前から南大谷中学校付近にかけて、横断歩道を渡らずに道を横切っている児童を見かけるので危険(2件)

最後に・・・

アンケートにご協力ありがとうございました。
大変参考になりました。
ポイント立ちは負担！という話ばかりを耳にしていますが、思ったより回数に対する負担が無かったことに、正直驚いています。
子どもたちの安全を守ることが、父母教の活動において最重要任務であることから、あまり負担をかけず、それでも子どもたちの安全な登下校を見守っていきたいです。



お気づきになった情報は、父母教のアドレスまでご連絡をお願いします。

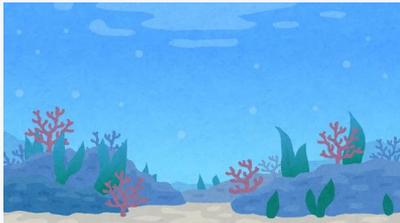
通学路における危険箇所や、横断旗の破損・汚れ、横断旗入れの不具合、古くなった腕章の交換依頼等気になることがありましたら、父母教のアドレスまでご連絡ください。

広報より みなみおおや大図鑑から

みなみおおや大図鑑で教職員の方々にお答え頂いた、おすすめの本、映画、漫画から、少しずつご紹介いたしました。すべてをご紹介できなかったのが心残りです。約1年間、ありがとうございました！

絵本

「スイミー」 作 レオ・レオニ 翻訳 谷川俊太郎



イメージ画像です。

小さな黒い魚スイミーは、兄弟みんながおおきな魚にのまれ、ひとりぼっちに。海を旅するうちに、さまざますばらしいものを見ます。そして、再び、大きな魚に出会いますが…。世界中で翻訳され、日本でもロングセラーを記録しているレオ=レオニの代表作
1969年発行

マンガ

「ONE PIECE」 尾田 栄一郎



イメージ画像です。

時は大海賊時代。いまや伝説の海賊王G・ジャークの遺した『ひとつなぎの大秘宝』を巡って、幾人もの海賊達が戦っていた。そんな海賊に憧れる少年ルフィは、海賊王目指して大なる旅に出る!!
2021年にコミックスは100巻を突破。さらに、発行部数はシリーズ累計5億部も突破している(2024年現在)。1999年よりTVアニメーションが放送開始。
1997年発行

小説

「自転車少年記」 竹内 真

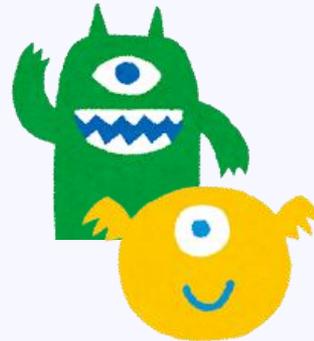


イメージ画像です。

銀色に輝く翼を手に入れた昇平と草太は、冒険をした。レースで汗を流した。もちろん素敵な恋もした。自転車のスピードで、少年は大人へと成長する。爽快無類の成長小説。『新潮ケータイ文庫』で配信されたものを単行本化。
2004年刊

映画

「モンスターズ・インク」 制作国 アメリカ



イメージ画像です。

子ども部屋のクローゼットの向こう側に広がるモンスターたちの世界。彼らは夜な夜なドアを開いては子どもたちを怖がらせているのだが、実は彼らは“モンスターズ株式会社”のれっきとした社員なのだ。この会社は、モンスターシティの貴重なエネルギー源である子どもたちの悲鳴を集めるのがその仕事。しかし、最近の子どもは簡単には怖がってくれない。モンスターズ社の経営も苦しくなっている。そんなある日、大事件が発生した。
2001年公開

立候補募集をおえて

3月の6日にて、2度にわたる25年度役員及び委員の立候補募集が、すべて終了しました。
立候補くださったみなさん、ほんの少しでも考えてみてくださったみなさん、ありがとうございました。

青少年健全育成委員は全ての枠が埋まりましたが、ほとんどの部門で定員割れがおきました。

募集のリマインドテトルのたびに、休会もしくは縮小の可能性をお伝えしておりました。

募集がなかったのは、保護者のみなさんが、関心がなかったからでしょうか？

休会または縮小してもいいと思ったからでしょうか？

もしもそうだとしたら、それは保護者の皆さんの問題ではなく、父母教のあり方に問題があるのだと思います。

無くなって困るなら役員や委員をやるべきでしょうか？

違います。

保護者の皆さんのできることは、それぞれ違います。それがたまたまこういった結果になっただけです。

役員について考えてくださった方も、考えてなかった方も、それぞれが子ども達のために行動をしていることは明らかです。

この結果をうけとめ、時代の流れにあわせた運営を考えていくほかありません。

立候補してくださったみなさんと、わたしはラインやメールなどでお話をさせていただきました。

率直に、あーこの人たちと役員やってみたかったなあ…と思いました。

しかしながら、改善の道は新しい風を取り入れる事だと思っています。

長く同じメンバーで運営され、意見に耳を傾けることなく、自分たちのやりたいように私物化しているPTAもあると聞いています。

去年度一緒にやっていた役員に、今年度も続投しないかと誘ってみたところ、役員、委員をやることで、子ども達をとりまく環境について考えることも増えて、意識が変わっていくし、こういう経験をする保護者が増えたほうがいいと思う。だから新しい人が入った方がいいんじゃない？と言っていました。

だから、わたしは新しい風のみなさんにこれからの父母教を託します。

新体制については、あらためてテトルにて、お知らせいたしますので、しばらくおまちください。

何かありましたら遠慮なくお申し付けください。

副会長 古屋敷 minamifubokyou@gmail.com





昨年に引き続き本年も会長を務めてまいりました、新井克尚です。私は対外の役務に合わせて、みなみおおやまつりのアナウンス係など、本年度もできる時にできることを諸々やってまいりましたが、何より役員、委員、地区委員に立候補してくださった皆様のご尽力のお陰で2024年度を終えることができますこと、感謝の念で一杯です。ありがとうございます。また、子供たちの安全・安心のために、そしてよりよい成長のためにご尽力をいただいた保護者の皆様に心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

この原稿を書いている時点は、父母教の次年度役員2次募集のテトル配信が終わった段階です。原稿自体は本来はもう少し早い締切でしたが、広報役員の駒形さんをお願いし結果が出るまで待っていただきました。完全立候補制に移行し、入会も任意として2回目の役員募集で、立候補者が揃わず休止や縮小ということも視野に入れての役員会がこれから、という段階です。立候補をするまでに役員立候補者が全然出ないなど様々ありましたが、結果として私は3期目の会長に立候補をいたしました。あとは役員がすべて埋まればと願っておりましたが、立候補募集副会長2名に立候補ゼロ、地区、会計、企画も各1名欠員、運営委員も計18名欠員という結果でした。

今年度の副会長主導のもと、各担当の役員の皆様には役員や委員の立候補がない又は数名の場合のパターンも考えていただいております。父母教活動休止も含め、あらゆる可能性に対応できるように進めてまいりました。立候補を募っている最中にも役員の皆さんと話し、それでもサポートし合ってこれまでのレベルを維持できないか、という意見もあれば、役員立候補がなければそれも民意、という意見もあり、ここに来るまでも本年度役員の皆様は本当にたくさんの意見を出していただきました。この原稿を書いている時点では3日後に2024年度の役員会があります。その場で皆で話し合い、2025年の運営をどうするかを考えてまいりたいと思います。子供の年齢による仕事環境の選択や在宅勤務の有無など、年度によって温度差があるということもきっとあろうかと思いますが、今回の結果は結果です。決まった枠の中で最大限、子供たちの成長のために、安心・安全のためにできることをやるのが父母教だと考えております。見守っていただいている地域の皆様にもご協力をいただきながら、2025年度も子供たちのために力を尽くしていきたいと思いますので、保護者の皆様も「できるときにできることを」で構いませんので、ご理解、ご協力をいただければこんなに嬉しいことはありません。

結びに、ここに至るまでに最大限ご尽力をいただきました古屋敷副会長を始め、たくさんたくさん行動しお支えをいただきました2024年度役員の皆様、運営委員地区委員の皆様、鶴岡校長先生を始めとする教職員・学校関係者の皆様、お支えをいただいた地域の皆様に、心よりの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

副会長より



2年間の間、わたしはいくつかのアンケートを行い、保護者のみなさんからのメール対応などを行ってきました。たくさんのご意見いただきありがとうございます。

組織を運営する上で、多数に合わせなければいけない場面が多くあります。しかしながら、組織がより良いものへ成長していく鍵は、みなさんがくださった意見の中にあると思っています。少数の意見にこそ改善の糸口があることもあります。役員じゃないから、委員じゃないから、やったことない人には、分からないからそんな発言ができるんだ！と切り捨てる人もいるかも知れません。

わたしは、アンケートに込められたみなさんの考えや気持ちを熟考しました。

忘れられないのは、「子どもたちのため！という大義名分を掲げてその実は労働力の搾取ではないか」というご意見でした。

子ども達のために何かを行うことは、当たり前ではなく、やるように強制することも、やらないことを批判することも間違っている…平等とは子ども達にであり、保護者のみなさんには、それぞれが思う活動でよいんじゃないかと、強くおもいました。ときには、意見をくださった保護者の方と仲良くなりました。

副会長になってから、私のGoogleオススメ記事にはたくさんのPTAの記事が流れてきます。

大人の都合で、ずっとこうやってきてるから、と活動を強制しているPTAは根強く残っています。

父母教は、子どもたちの為にというモットーを3つかかげており、その趣旨に賛同していただければ入会を…とご案内をしております。

保護者のみなさんには、会員かどうかにかかわらず、これからの父母教がモットーに則った活動をしているか、大人のエゴで運営していないか、真に子ども達が望む活動をしているか、を、よくみて判断して、そうでないと思った時には、声をあげてください。これからの父母教が、みなさんの声に耳をかたむけて、運営されることを切に願います。

2年間、わたしの父母教への、学校への、地域のみなさんへの、保護者のみなさんへの、息子たちへの熱い思いが詰まったみなみおおやだよりを読んでくださりありがとうございました。

父母教でやってみたいこともあったし、離れるのは寂しいけれど、来年度は、頑張り屋さんだけど時々困ったさんになったり、頑張りすぎちゃったりするお兄ちゃんと、学校で頑張っても頑張っても、みんなと違う自分に悩み苦しんでいる下の子の母として頑張ります。



SGCより お祝いディスプレイを設置しました！

今年度もSGCから卒業する6年生へ、お祝いディスプレイを設置、また花壇の整備を行いました。

これから学校花壇では冬を乗り越えた花々が門出の日を彩る予定です。

ご卒業おめでとうございます！



企画より

みなみおおやまつりや文化企画に携わってくださった皆様、本当にありがとうございました。今年度のみなみおおやまつりでは、子どもたちにもブースのお手伝いをしてもらいました。各ブースの方からも一生懸命にお手伝いしてくれたことを褒めていただき、またお願いしたいとの声も聞かれました。

子どもたちのたくさんの笑顔が見れたのも、イベント委員の皆様・係でお手伝いして下さった方々・イベントに参加して下さった方々のおかげです。1年間ありがとうございました。

感謝